

箱崎白浜地区まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 25 年 4 月 29 日（月）10：00～12：00
- 場所 箱崎町第 3 仮設団地集会場
- 次第
 1. 釜石市長 野田武則あいさつ
 2. 国・県事業の進捗報告
 - ・ 南三陸国道事務所管内の復興道路（三陸沿岸道路）・復興支援道路（釜石花巻道路）の工事状況の報告
 - ・ 緊急車両用の道路拡幅と追い越し車線部について
 - ・ 釜石市内の三陸沿岸道路（吉浜～釜石）、釜石花巻道路（釜石～釜石西）の工事状況の報告
 - ・ 釜石山田道路の共用部と工事 4 箇所状況報告
 3. 浜のすまいを考える会のふりかえり
 - ・ 前回ワークショップの振り返り（道路計画／公営住宅の位置／再建位置／屯所・集会施設の配置について）
 4. 最新の土地利用計画
 - ・ 浜のすまいを考える会での意見を踏まえた土地利用計画図の提示
 - 道 路：ボーリング調査結果を基に適切な切土角度で設計し、土砂崩れのない道路設計を行う
 - 新設道路と併せて細い既存道路の拡幅と側溝を整備予定
 - 既存集落内の道路に関しては、市全体の整備優先度を考慮して検討
 - 漁港から公営住宅へのアクセス道は検討中
 - 避難所：白浜星の宮神社境内、旧箱崎白浜へき地保育所、旧白浜小学校校庭にバス停を加えた 4 箇所を検討中。また、白浜星の宮神社は浸水したこともあり、奥の家付近に変更予定。
 - ・ 今後のスケジュールについて
 - 土地の価格算定が終わり次第、用地買収を行い造成工事に入る。公営住宅はその後、順次工事を進める。

5. 災害危険区域の設定について

- ・ 対象区域の設定方法（津波浸水シミュレーションより浸水が想定された区域）と規制の対象についての説明
- ・ 災害危険区域に指定予定の範囲について（箱崎白浜地区は第一種区域に指定予定）

6. 復興公営住宅予定整備戸数、住宅再建支援策について

- ・ 復興公営住宅は土地利用計画決定後、平成 25 年度末の入居を目指して木造住宅 10 戸を整備予定
- ・ 被害の程度に応じた住宅再建支援制度の確認と、検討されている住宅再建利子補給制度について

7. 私的整理ガイドラインについて

- ・ 私的整理ガイドラインが適用される借入金の種類と減額・免除のルール説明、利用するメリットについて

8. 意見交換

仮設住宅に入っている復興公営住宅に申込できない被災者が、入居できるようにならないか。

→ 復興公営住宅の入居には国で定める基準があり、市ではその基準に基づき入居の順番を考えています。一方で、そういった方々でも入れるよう引き続き国に要望しているところです。しかし、今ここでは断言できませんので、大変申し訳ありません。現状では、復興公営住宅には入れませんが、市の公営住宅には入れます。

中須賀前地区の者です。保育園の突き当たりの上に道路がつながるのですか。

→ へき地保育園のところの 2 戸を集約して本日提示した場所としました。

高台移転の区画は前回 8 戸だったが今日は 4 戸になっているが。

→ まず、災害危険区域にかかっている方に、この 4 戸の場所に移っていただきたいということです。災害危険区域にかかっていない方で高台に移転を要望されている方もいらっしゃいますが、そういう方は相談していただきたいということで、まず 4 戸だけお示ししています。災害危険区域にかかっていないと土地の買い取りはできないのですが、個別にご相談させていただきたいと思います。高台移転とは別事業になるので、そういうご希望があれば早々に担当にお話しいただければと思います。

シミュレーションでは浸水しなくても、実際には津波がきており、ここには住みたくない。高台移転の事業に入れてもらったほうがいいのではないか。

→ 国の基準があつて、災害危険区域に該当する人についてだけ国からお金がかかることになり、そうでない人はまた別なやり方でやっていかなければなりません。できるだけ皆さんの期待に応えられるように検討しますが、お金の問題がありますからじっくり検討しなければなりません。

毎回説明が変わる。事前が変わったところを示してもらわないと、何を聞いたらいいか分からない。

→ 住宅地の位置は、前回のワークショップの際にいただいた様々な意見を反映させたものです。前回よりも皆さんの意見を反映してより良いものをお持ちしたということをお理解いただければと思います。

いきなり来てどうだと言われても困る。事前に考えてから話を聞けるような工夫をして欲しい。

→ 他地区でも同じようなお話をいただいています。案内の中に資料を入れて、前もって知識を持って参加できるような仕組みにしたいと思います。また、その都度決まった部分については前に進ませていきたいと思っています。

災害危険区域をそのままにしても困るので、公共的な広場やバス停・浄化槽などの跡地利用も検討していく必要があると思う。

→ その通りだと思いますが一度に全部はできないので、少しずつ検討していきたいと思っています。また、これを契機に震災前の箱崎白浜の歴史と文化を取りまとめる作業もしたいと思っています。

復興公営住宅の戸数は10戸で大丈夫か。

→ 10戸というのは去年意向調査をした結果です。変わってくる人もいますし、市はできるだけ自力再建を促したいので、支援策を作って改めて意向調査をします。意向調査をして数が変われば、それに合わせてまた調整していきます。